



# Weekly Report

## 小諸浅間ロータリークラブ



- ◆例会日/週火曜日 12:30~13:30 ◆例会場/小諸市鶴巻 音羽
- ◆事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 2 階
- ◆会 長 / 掛川 興太郎 ◆副 会 長 / 小池 平一郎
- ◆幹 事 / 矢島 栄一 ◆クラブ広報・情報委員長 / 中河 邦忠

2016~2017 年度

国際ロータリーのテーマ

NO. 1361 平成29年4月11日

◆点鐘	掛川興太郎 会長
◆SAA	湯本 敏晴 委員
◆ソング	奉仕の理想

### 【会長挨拶】 掛川興太郎 会長

皆さん、こんにちは。先週はお休みを頂きまして小池先生には御迷惑おかけ致しました。

4月は一般的に日本の社会的習慣からすると、スタートの時期です。新入社員として、社会生活をスタートする人、移動や転勤で新しい仕事環境に入る人、又、4月は入学式や新学期の始まりでもあります。人口問題研究所によれば、日本の人口は2053年に一億人を割り込み、2065年には8808万人と今の3分の2に減るそうです、それでは国力を維持出来ないのでは、出生率を上げようとか、移民を大量に受け入れようとかいう議論がされています。人口が減ると市場が縮小して経済のパイが小さくなるから、貧乏になると言う人がいます。楽観的に考えれば、日本人はその程度のことは知恵を出して乗り切ってしまうように思います。一人当たりのGDPは現在、世界の中では26位前後、一人当たりの生産性を上げ、内需が減った分、海外に魅力的な製品を売る。国民総生産(GDP)をたいして減らさず、現在の水準を保つことは可能ではないかと思う。そうは言っても、人口が減っていく過程では、さまざまな混乱が起きてくるだろうと思う。そのひとつが既に世間を騒がしている人手不足の問題だろうと思う。これを解決するのに、手っとり早いのは年寄りしかいないだろうと思う。人間は死ぬまでは働ける。むしろ働いている方が元気ではないかと思う。私どもの会社でも、定年過ぎの社員のほうがむしろ若い社員よりもよほど生産性が高い。今まで培ってきたノウハウを伝承する役割、教育訓練に活用していきたいと思う。人口減少を嘆いていても始まらない。人口減のデメリットをいかに抑えながら、メリットをどう伸ばすかを考えるほうがよほど建設的だと思います。

### 【幹事報告】 矢島 栄一 幹事

・例会終了後理事会

#### 【本日の配布物】

週報 1360号、ロータリーの友 4月号

### ◆出席報告 前田 博志 委員長

会員数24名 出席義務者23名 免除者1名

本日 出席 16名

事前 MU 0名 69.57%

前々回(3/28) MU 0名 77.27%

### ◆委員会報告

クラブ広報・情報委員会 依田 晋一委員

・ロータリーの友 4月号紹介

### ◆ラッキー賞

NO. 9 黒澤 明男 君

### ◆ニコBOX 小林 秋生 委員

小池平一郎君	9日の日曜日、地区研修・協議会に参加して下さった委員長さんに厚く御礼申し上げます。
小林 秋生君	地区研修・協議会に出席しました。参加会員の皆さんご苦労様でした。
黒澤 明男君	ラッキー賞ありがとうございます。
前田 博志君	ありがとうございます。
小山 盛夫君	職業奉仕の為、早退します。

## 【本日のプログラム】 「地区研修・協議会報告」



### 次期会長・幹事部会 会長エレクト 小池平一郎 会員

4月9日(日)松本大学に於いて、地区研修・協議会が開催され、次期小林幹事はじめ8名の次期委員長さんと計10名で小諸RCと共に研修に行ってきました。

午前中の本会議では、関邦則ガバナーエレクトが2017~2018年度に向けてRI方針並びに地区方針・行動計画について次の様な話をされました。

RI会長エレクトはイアンH. S. ライズリーさん、オーストラリアのクラブの方で、RIテーマはRotary: Making a Difference (ロータリー: 変化をもたらす)で、クラブの支援と強化・人道的奉仕の重点化と増加ことに「持続可能性」・ロータリーの公共イメージと認知度の向上・環境対策の4つであり、具体的には女性と若い会員の増強、「ポリオ撲滅活動の様に持続可能なロータリーの奉仕モデルを作り、ロータリーというブランドとストーリーを広く世の中に伝え、1会員が1本の植樹をしよう」との方針であると説明されました。

それに基づき2017~2018の地区方針は、“Update My Club”つまり自分自身や自分たちのクラブを「アップデート」しようとしたらどうでしょう。それぞれの企業でも時代に即したビジネススタイルや新しいニーズに応じた商品などを開発し、イノベーションを計っています。ロータリーも同様に社会の変化に即した組織になって行かなければ生き残ることはできなくなります。自分達のクラブの実情を理解し、この先どのように活動していけば良いのかを真剣に考えなければなりません。自分達のクラブを良くしていくことが2600地区を良くしていくことになるのです。と説明されました。

そして最後に寄付目標としてR財団年次基金へ1人150ドル以上、ポリオプラス基金へ30ドル、サービスセンターに500円、米山記念奨学会へ3,000円以上、特別寄付を合わせ20,000円以上。そして寄付ゼロクラブがないようにお願いされました。また、10月14日・15日の地区大会(長野国際ホテル21)への参加をお願いしますと結ばれました。

午後は各分科会に分かれて各々の委員会で討論が行われました。各々の委員長さんから報告があると思います。私は小林幹事と共に会長・幹事部会に出席しました。地区研修リーダーの都筑文男パストガバナーより「戦略計画とは」という話があり、・会員基盤の確立と強化・人道的奉仕の重点化と増加・公共イメージと認知度の向上が柱であり、まずは自分にできることから始めましょう。とのことで、その後、各グループごとに分かれ関口孝裕東信第一グループガバナー補佐を中心に来たるべき1年間のクラブ計画や活動方針について討論しました。

その後、第2回本会議に戻り、原拓男ガバナーから2018~2019年度のガバナーノミニの発表があり、駒ヶ根RCの伊藤雅基会員が紹介されました。ガバナーエレクトの謝辞とガバナーの講評で一日の研修が終了しました。参加されました各委員長さんに厚く御礼申し上げます。



### 次期会長・幹事部会 次期幹事 小林 秋生 会員

4月9日(日)松本大学会場へ参加してきました。予定出席欠けることなく小池会長エレクトさん含めて、10名の参加でした。お天気の方がよくありませんでしたが、参加された会員の皆さんに感謝申し上げます。

さて、第1回本会議での研修は、関邦則ガバナーエレクトによる、2017-2018年度地区方針、“UPDATE MY CLUB”の解説と、行動計画の説明が主体でありました。内容を一言に要約すると、

ライズリーRI会長エレクトの示すRIテーマ、“ロータリー: 変化をもたらす”を受けて、この変化をアップデートと読みかえて、社会の変化に合わせる、すなわち自分自身を更新して現状を見直していくという斬新なものでした。会長、幹事部会における議論も、ロータリーの基本である例会のあり方まで踏込んで改革を考えて見ると言うものでした。RIテーマの変化も、地区方針のUPDATEも、時代の変化に合せた見直しが必要で、現社会に理解される事こそ最も重要である。とのことでありました。その他、各分科会状況は各担当会員にお任せします。



### 米山記念奨学会部会 次期ロータリー財団・米山記念奨学会委員長 橋詰 希望 会員

米山奨学会堀川浩理事が、体調がすぐれないということで三井章義パストガバナーがカウンセラーとして出席し、ほとんどのクラブから委員が参加して50名ぐらいの大きな分化会でした。

初めに米山奨学会は、戦後の復興の道を歩み始めた当時の日本にとって、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、世界の国々との人物交流を深める必要性を多くの人が感じていた時代に、留学生が

平和を求める日本人と出会い、信頼関係を築くことを目的に始められ、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業と高く評価され、全国に拡大していきまされたという説明がありました。

米山留学生である信州大学院建築学科で勉強している、ベトナムからの留学生、グエン トック クアンさんの講演がありました。奨学金で勉強に励むことができるとも嬉しい。留学生になって、自信が付き、夢を持つことができ、その結果勇気がわいたと話されました。清水義雄委員長はわかりやすく具体的事例も加えて米山記念奨学会の説明もして下さりとても充実した委員会となりました。

次年度は我がクラブが留学生のホストクラブとしてお世話をする事になり、韓国のパクミジョンさんを、毎月例会に招いて、奨学金 10 万円をお渡します。長野大学企業情報を専攻する 20 歳の女性です。将来日本との架け橋となっていただけのようにしっかりサポートをしていきたいと思っています。



#### 公共イメージ向上部会 次期クラブ広報・情報委員長 依田 晋一 会員

本年より広報情報委員会は名称変更された。

内容的には過去の委員会よりの推進であります。地域社会への取り組みを主目的に考えた委員会名と考えられます。

- ・まず地域メディアに取りあげられる様な奉仕活動をし、市民に尊敬されるロータリークラブでなければならない。
- ・広報活動によりメディアに好感されるような公共イメージが良くなれば、クラブと地域社会との関係も良くなりロータリーへの入会への関心が高まります。



#### 職業奉仕部会 次期奉仕プロジェクト委員 加藤 輝男 会員

私に記憶に感じた事、まず 3 人いました。1 人目の方、松本大学の岩間准教授からの講話がありました。松本大学の基本理念は(地域貢献)ですと生徒にも教育をしています。そして、社会的知識及び経験の乏しさが問題。それを補う教育とか教養をしっかりと身につける事が大切。その話から料理の話に変わり、朝食、夕食毎日食べますねと又野菜料理でも肉料理でも最後の

味付けは生徒に必ず味をつけてもらう。用は自分で考えてやる力をつけさせる事が大事な事ですと私もその通りだと思いました。

2 人目の方、岡谷ロータリークラブの小林睦己様でアイデアシステム(株)と言う電子機器の製造会社の社長です。その中で①人は一生懸命勉強しなさい。②会社は知恵を出し、実行しそれをやり遂げる事。その中で時は金なりといかに 1 分 1 秒が大切なのです。③仕事は楽しんでやる。仕事は自主的に行い達成感を味わうと(公園の穴掘り)の話からなぜ穴掘りをするのですかと 4 人に聞いてみた。A 言われたから B お金になるから C 木を植える為 D やすらぎを与える為 皆さんはどうでしょうか。やはり C か D の考え方になって下さい。

3 人目の方 横田盛廣様でヨコタインターナショナルの社長です。会社を経営していく上で今、後継者が全国的に少なく苦労している会社が 60%位有る。このままで行くと企業が減少して、日本の経済にも響くのではと早く対策をしていかないと。その次はかんでんパパの伊那食品の話になり、横田社長もいい会社を作りましょう。また、社員が幸せになって欲しいと伊那食品の堀越会長様の理念、考え方が一緒なのかなと私も同感致しました。

この講話も 1 人 15 分~20 分位しかありませんでしたが、ロータリーの主旨として活躍のすべてが平和につながり奉仕の心を忘れず、世界全体が良い事を実行すると私自身も本当に良い勉強になりました。ありがとうございました。



#### 青少年奉仕部会 次期出席・プログラム委員長 中河 邦忠 会員

冒頭、倉科委員長とカウンセラー中川PDQよりご挨拶があり、引き続きライラ委員会、インターアクト委員会、青少年交換委員会、青少年育成プログラム危機管理委員会等の副委員長より委員会の目的・目標・そして今年度の計画、重点事業についての説明がありました。

その後分科会に分かれ、私はRYL委員会担当になりました。青少年奉仕活動は地区内55クラブ

での温度差が激しく、クラブ内でも関わり方の差が大きい。多くのロータリアンに理解してもらえるよう工夫していく。

RYLAは青少年奉仕の活動を理解するために有効なプログラムなので、未経験のクラブにホストをお願いしていく。次年度は上田東RC、次々年度は佐久RCがホストに決まった。近い将来我がクラブにも要請される?

今年度のRYLA委員会の計画はセミナーを開く

対象者 2600地区の20歳から30歳位までの男女を公募/RAC/米山奨学生/YEG、JC/ロータリアン地区役員

テーマ 「何かを変えれば、何かが変わる。未来を変えよう・・・」

日程 2017年9月23日(土)、24日(日)

場所 上田市菅平高原1223-414 菅平イナリホール

#### 会員増強部会 次期会員増強委員長 渡辺 文夫 会員

会員増強部会では次期地区会員増強委員会カウンセラー望月宗敬直前ガバナーが相談役として 15 分程講演しました。会員増強は近々の課題で義理と人情と押しの一手で頑張ってもらいたいとのことでした。

RLI 方式で話が進みましたが全般的には会員増強はクラブ全体の事業として全会員で知恵を出して頂きロータリーを実践して全地区で 2000 名を割り込むことの無い様頑張ってもらいたいとのことでした。



## 国際奉仕部会 次期副幹事 矢島 栄一 会員

国際奉仕は、当クラブにとって現状の活動を見る限りは一番なじみの薄い奉仕のように思われます。とは言うものの、国際奉仕に関連するものはロータリー財団、米山奨学、青少年奉仕、青少年育成プロジェクトなどと密接にかかわっており、世界的視野で見ると国際奉仕はロータリーを象徴する奉仕とも言えます。

そもそも国際奉仕とは何ぞや…という定義としては「人道的な活動を広げ、世界理解と平和を推進する活動をする」ということで余計わかりにくいものになってしまいます。

具体的には、一つ目に挙げられるのが世界社会奉仕活動ですが、代表的なものにグローバル補助金を使った奉仕活動があげられます。しかしながら、その事業規模は補助金額が3万ドル以上というもので、なおかつ対象地域が東南アジアやアフリカ、南米の一部などに限られることから、一クラブで立ち向かうには壁が高すぎる気がします。

二つ目に挙げられるのが、国際レベルの教育及び文化活動です。具体的には三つ、①ロータリー友情交換、②世界ネットワーク活動グループ、③国際青少年交換となっています。

三つ目は特別月間の催しで、経済と地域社会の発展月間、平和と紛争予防／紛争解決月間、青少年奉仕月間が対象となります。

四つ目は国際大会のような国際的な会合、五つ目には海外姉妹クラブとの国際交流などが挙げられています。

当クラブでは、どの分野を視野にいれて取り組んでいくのなかなか難しいところではありますが、将来いずれかの活動に参加できるようにしていければと感じました。

## ロータリー財団部会 次期副会長 湯本 敏晴 会員

1. 年次基金寄付目標 一人平均 150 ドルを達成しよう。所得税等の控除で寄付額の約 40%程度還付されます  
2014~15 年度一人平均 142, 83 ドル 2015~16 年度一人平均 133.82 ドル
2. 年次基金寄付0クラブを0、寄付履歴から寄付額0のロータリアン0をお願いします。できるだけ早くご寄付下さい
3. ロータリー財団担当例会を下記の内容を中心に最低年4回開催しよう。
  - 1) ロータリー財団の補助金について
  - 2) ポリオ・プラスについて
  - 3) ロータリー財団の資金の仕組みについて
  - 4) 資金管理と参加資格について
  - 5) ロータリー平和フェローについて
4. ポリオ・プラスへ1人30ドル以上/年(2017~18年度日本全体約270万ドル目標) ロータリー平和センターへ1人500円以上/年
5. 恒久基金寄付(ベネファクター)、または遺贈友の会会員1名増
6. 第2ゾーンロータリー財団ニュースと地区ニュースを発行します
7. マイロータリー、ロータリークラブセントラルへの登録をお願いします
8. 地区補助金管理セミナーへの出席(最低1人・2017年12月3日(日)松本大学  
・会長エレクト、次期ロータリー財団委員長、クラ事務局 etc
9. 地区補助金の申請
  - 1) 地区補助金申請(2018年1月~3月中旬)
  - 2) [MOU]の提出(2018年1月31日)
  - 3) グローバル補助金申請は随時受け付ける
- 10) ロータリーカードに最低新規2名加入する  
・オリコ・スタンダード・カードは年会費永年無料です  
・オリコ・ゴールド・カード年会費10,500円の内3,000円がR財団に寄付されます  
・オリコ・スタンダード、ゴールドカードは利用金額の0.3%がR財団に寄付されます  
・オリコ・ビジネスカードは年会費3,500円の内1,500円、利用金額の0.5%が寄付されます  
・ダイナースクラブカードでRクラブのカードを作れるようになります。(例会、懇親会等の支出をカードで支払いポイントを寄付しましょう)(0.3%寄付)
- 11) 地区ロータリー財団奨学生を推薦する(グローバル補助金のみ)
- 12) 地区補助金の資産管理及び報告をする
- 13) R財団地域セミナー…2017年11月20日(月)

次週のプログラム:4月18日「卓話」クレイポルド様 傅様  
次々週のプログラム:4月25日「卓話」そらねこ会 湯沢 美恵様